

第 26 回青年対策交流集会に参加して

2026 年 2 月 22 日～24 日の豊橋シーパレスリゾートで開催された。第 26 回青年対策交流集会に参加させて頂きました。全港湾中央執行委員長の鈴木誠一委員長の挨拶に始まり、1 日目には松永中央書記長から「各協定について」オルグを受けました。

各協定のゴールは我々の職場を魅力ある港湾に繋げていく為のものであると思います。そういった中で今を生きる青年層の組合離れや理解度の差。協定の目的・交渉の意味が曖昧なまま働いてしまっているこの現状に対しては危機感を持たなければいけないのではないかと感じました。自分達青年部もいつかは、協定を知る段階から担う立場にならないといけないと思います。その為に自分達がしなくてはならないこと。今回のオルグを受けて明確に分かりました。

2 日目には千葉中執から「災害時における港湾従事者について」のオルグを受けました。過去の災害から自分達は何を学びどんな行動をしていく必要があるのか。

誰一人として他人事ではありません。

経験を知識として終わらせてしまうのではなく、しっかりと繋げていくこと。それは青年部である我々の任務です。

今回この交流集会が開催された意味や目的を自分達はもう一度考える必要があると思います。

今すぐに何かを変えることは大変なことだと思います。微力ながらも歩みは止めません。全国に同じ志を持った仲間、この横の繋がりこそ自分達青年部の強みであると今回の交流会で再確認することが出来ました。

先代が築き上げてきたものを大切にしながらも、より良い物にしていけるよう今後も青年部一同活動を続けていこうと思います。

全港湾東海地方清水支部 青年部長 前嶋 皓介